

2021年11月29日

各位

株式会社池田泉州銀行
池田泉州キャピタル株式会社

～合成データを生み出すシンセティック AI の社会実装を加速～
イノベーションファンド 25 による
株式会社データグリッドへの投資実行について



池田泉州キャピタル株式会社（代表取締役 平松 勝己）が運営し、株式会社池田泉州銀行（頭取 CEO 鶴川 淳）等が出資する「関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合（愛称：イノベーションファンド 25）」は、2021年11月26日付で、株式会社データグリッド（本社：京都市、代表取締役 CEO 岡田 侑貴）に対し、投資を実行いたしましたので、お知らせいたします。

イノベーションファンド 25 は、地域社会における新事業の創出等産業振興に寄与し、大阪・関西の地域経済の発展や雇用の確保に繋がると期待され、2025年大阪・関西万博が目指す「SDGs が達成される社会」や「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業を投資対象としております。


株式会社データグリッドは、「すべてのデータに、命を与える」をミッションに掲げ、デジタル社会で急増するデジタルデータやコンテンツを生み出す AI ソリューションを提供することで、人々がよりクリエイティビティを発揮できる社会を目指す京都発スタートアップ企業です。同社は、デジタルヒューマンや AI トレーニングデータ※といった合成データ（シンセティックデータ：Synthetic Data）を生み出すシンセティック AI の技術を保有しており、アパレルやメディア、製造業など各業界のパートナー企業とソリューション・プロダクトの共同開発および製品化を進めております。このシステムを活用することにより、従来の画像・動画制作にかかる労力、時間、コストの削減が見込め、産業構造の変革が期待されます。SDGs⑧「働きがいも経済成長も」、⑨「産業と技術革新の基盤をつくろう」、⑫「つくる責任、つかう責任」、⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」の実現に貢献する株式会社データグリッドを、イノベーションファンド 25 を通じて成長支援いたします。

※AI の学習用データとして疑似データを生成し、データ不足問題を解決



【AI が自動生成した「デジタルヒューマン」の例】

【投資先概要】

社名	株式会社データグリッド
代表取締役 CEO	岡田 侑貴（おかだ ゆうき）
本社所在地	京都市左京区吉田本町 36 番地 1 京都大学国際科学イノベーション棟
設立	2017 年 7 月
事業内容	シンセティック AI を活用したソリューションの共同開発及び AI プロダクトの提供
Mission	「すべてのデータに、命を与える」 デジタル社会で急増するデジタルデータやコンテンツを生み出す AI ソリューションを提供することで、人々がよりクリエイティビティを発揮できる社会を目指しています。
SDGs の実現	
備考	J-Startup KANSAI 選定企業

【ファンド概要】

名称	関西イノベーションネットワーク投資事業有限責任組合 （愛称：イノベーションファンド 25）
ファンド総額	設立時 12 億円
有限責任組合員(LP) ※順不同	株式会社池田泉州銀行、岩谷ベンチャーキャピタル合同会社（岩谷産業株式会社より地位承継）、エネサーブ株式会社、大阪信用保証協会、塩野義製薬株式会社、ダイキン工業株式会社、日本生命保険相互会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、ロート製薬株式会社
無限責任組合員(GP)	池田泉州キャピタル株式会社
投資対象	大阪・関西万博が目指す「SDGs が達成される社会」「Society5.0 の実現」に貢献する技術・ビジネスモデルを持った企業
投資形態	普通株式、優先出資 等
設立日	2019 年 9 月 20 日
存続期間	10 年（最大 2 年まで延長可）

当行はプレスリリースに関連する SDGs 17 のゴールのアイコンを掲載しております。

